

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回葛飾区健康医療推進協議会		
開催日時	令和6年3月25日 午後1時30分開催		
開催場所	ウィメンズパル 多目的ホール		
議 題	(1) 葛飾区自殺対策計画の進捗状況について (2) 葛飾区保健医療実態調査の結果について (3) 次期かつしか健康実現プランの策定について (4) 令和6年度の新規事業等について		
会 議	公開・非公開の別	公 開	非 公 開
	非 公 開 の 理 由	1. 法令等の規定により非公開 2. 第 回開催の会議の決定により非公開 3. その他 ( )	
会 議 録	公開・非公開の別	公 開	一部公開 非 公 開
	非 公 開 の 理 由	葛飾区情報公開条例第9条第 号 該当	
出席者 職・氏名	亀井会長、大山副会長、宮内委員、小笠原委員、佐々木委員、島田委員、 杉浦委員、楨野委員、小関委員、金澤委員、板橋委員、清古委員、下村委員、 鈴木委員、中島委員		
事 務 局	健康部地域保健課		
審 議 経 過	別紙要点記録のとおり		

令和5年度 第2回  
葛飾区健康医療推進協議会 要点記録

<会議次第>

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 健康部長挨拶
- 4 協議・報告事項
  - (1) 葛飾区自殺対策計画の進捗状況について
  - (2) 葛飾区保健医療実態調査の結果について
  - (3) 次期かつしか健康実現プランの策定について
  - (4) 令和6年度の新規事業等について
- 5 閉会

<開会>

地域保健課長	<p>本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、令和5年度第2回葛飾区健康医療推進協議会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本協議会事務局の健康部地域保健課長の南部でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>本日は傍聴の方が2名いらっしゃっております。</p> <p>傍聴する方へのお願いがございます。会議中は、携帯電話、スマートフォン等につきましては、マナーモードに設定するか、電源をお切りいただくようお願いいたします。また、傍聴人は意見を述べたり、質問したりすることはできませんのでご了承ください。</p> <p>また、会議録作成のため、音声を録音させていただきますので、ご了承ください。</p>
--------	---

<会長挨拶>

地域保健課長	<p>それでははじめに、本協議会の会長、亀井会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
亀井会長	<p>本協議会の会長の亀井でございます。お忙しい中、お集まりくださいまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は、令和5年度の2回目の会議となります。協議会の内容につきましては、葛飾区自殺対策計画の進捗状況や葛飾区保健医療実態調査の結果の報告となります。葛飾区保健医療実態</p>

	<p>調査の結果は、今後、第2次かつしか健康実現プランの次期計画の策定にも活用いたします。</p> <p>委員の皆様から活発なご意見を頂戴できればと思っておりますので、どうかご協力よろしくお願い申し上げます。</p>
--	--

<健康部長挨拶>

地域保健課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、区側委員を代表して清古健康部長よりご挨拶申し上げます。</p>
健康部長	<p>健康部長の清古です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、年度末のお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>先ほど会長からお話がありましたように、保健医療実態調査を行いました。6年ぶりの調査でして、その結果をもとに健康実現プランの改定作業に移ります。冊子はお持ち帰りいただいて、ご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>後でご説明しますが、喫煙率は下がっています。口の健康の取り組みも良くなっていますが、食育は朝ごはん食べていないことなどが課題かと思えます。他にも色々ありますが、是非ご意見いただきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。</p>
地域保健課長	<p>それでは協議に入ります前に、本日の資料の確認をさせていただきます。資料は事前に送付させていただきましたが、お持ちいただいておりますでしょうか。</p>
配布資料の確認	
地域保健課長	<p>それでは、これからの議事進行につきましては、亀井会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>

<協議・報告事項>

(1) 葛飾区自殺対策計画の進捗状況について

会長	<p>それでは、本日の次第に従い、協議に入りたいと思えます。</p> <p>まず、初めに「(1) 葛飾区自殺対策計画の進捗状況について」、報告していただきます。事務局からよろしくお願いいたします。</p>
----	--

保健予防課長	【資料1-1～1-2により説明】
会長	ありがとうございました。 それでは只今の事務局からの説明に対しましてご質問等ございましたら、お願いいたします。
副会長	ゲートキーパーについて、講習後の組織化やフォローアップは何かされていますか。
保健予防課長	まだ始めたところでなかなかそのフォローまで至っていないところです。受講してくださる方が増えてきているので、その後のことも考えていきたいと思っています。
副会長	認知症のサポーターもですが、組織化されていなくて、やった実績はいいけれども、それがどのように生かせるかとか、どのように役立っているか見えないところがあるので、継続した組織化とフォローアップなど行っていただければと思います。 また、自殺者の多い20代、50代は、地域にあまりいない人たちです。地域だけでなく会社や大学などと問題を抱えていそうな人のピックアップと対策というのが地域への働きかけと一緒に重要じゃないかと思いました。
保健予防課	なかなか区内の事業所と提携するのは難しい部分もあるかと思いますが、1番行政から情報が届かない世代に多いことは認識しております。学校などと連携させていただいてPTAの方に働きかけをするのが、行政だと少しやりやすいところかと思えます。 広報もなかなか辿り着かないかと思いますが、葛飾区で作っている名刺サイズの紙などがございますので、そういうものを色々なところに広げていって、気になった時に手に取ってもらえれば、相談していただける機会も増えるかと思えますので、できそうなことを考えていきたいと思っています。
委員	1つ教えていただきたいのですが、自殺する原因は調査されていますか。
保健予防課長	今回の資料の施策には記載していませんが、自殺死亡者の原因・動機などを調査しておりまして、葛飾区では健康問題が1番多く42.3%です。次に勤務問題が12.3%、その次に経済・生活問題となっております。印象としては経済・生活問題がもう

	<p>少し高いかと思っていました。健康問題は1番多いというところですが、こころの部分なのか、身体の部分なのかというところまでは調査できていないところになっております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。 経済問題ではないということですね。</p>
副会長	<p>勤務問題というのは、欠勤等ということですか。</p>
保健予防課長	<p>それ以上の詳しい内容はわかっていないところです。</p>
副会長	<p>推測すると、健康問題はがんや精神的な問題、勤務問題は、職場適応や同じように精神疾患になるかと思えます。勤務問題については、精神的な問題による欠勤というのが、産業医を経験しているとあり、これは先ほどと同じ50代の会社員たちをどうサポートするかという話になります。葛飾区の場合、大企業が少なくほぼ中小企業で産業医がついていないところですが、区内には東京東部地域産業保健センターがあり、50人未満の中小企業でも、こちらで産業医による健康と精神問題の相談や欠勤、パワハラなどの相談も受けられるので、活用しながら進めて欲しいと思えます。</p>
保健予防課長	<p>なかなか詳細がわからない部分もありますが、うつ病等のリワークの申し込みなどが増えている状況なので、色々問題を抱えている方は多いと思えます。連携できる場所とは連携させていただいて対応していきたいと思えます。</p>
委員	<p>性別・年代別の自殺死亡者数で、働き盛りの50歳から59歳の数が多いわけですが、それ以上の高齢者は、自殺願望というか、例えば健康管理を自分で怠ってしまったとか、薬を間違えて飲んでしまったとか、そういうことはあると思えますが、精神的なストレスで自殺をしようという意識は少ないのでしょうか。</p>
保健予防課長	<p>なかなか何故少ないかという分析は出来ず、亡くなった方たちも、推測で原因も調べているようなところもございまして、なかなか難しい部分もあるのかなと思っています。震災など大きな自然災害が起きますと、少し減るという傾向はありますので、そういうものが少し影響している部分もあるのかなと思います。</p>

	<p>何かこれをやったのですごく減ったと言えるようなものがなく、区も手探りで今やっていることに何か加えてできるものがあればということでやらせていただいています。</p> <p>高齢者の方ですと周囲との繋がりが少なくなってくるとか、周りの方が亡くなってしまったりとか、そうすると喪失感みたいなものが大きくなって、生きている意味を見失う方もいらっしゃるのかと思っております。できれば周囲と繋がっていただいたり、お話を聞かせていただいたりする機会が増えればと思っております。</p>
副会長	<p>何が効果あるかわからないということですが、新小岩駅のホームドアは効果があったのではないのでしょうか。</p> <p>ああいった対応は徹底的にやっていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
保健予防課長	<p>先日の自殺対策連絡協議会でも、ホームドアを設置したら凄く減ったというお話はありましたので、自殺をしにくい状況を作るということは大事だと思っております。区でどこまでできるかということもございしますが、なるべくやらせていただいて他にも区でできる場所があれば探らせていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>連携を中小企業とするというのは、すごく難しい部分があると思っております。また広報かつしかに書かれていることは、実際20歳から29歳の若い子だと見ないですね。</p> <p>2022年で20歳から29歳が増えていますが、色々ところで聞いていると、大学生がコロナ禍でリモートワークの授業のため横のつながりが全然なくて誰に相談すればいいのかわからないとか、社会人でも会議の後に2、3分とか話が出来ると思うのですが、リモートだとそういうところがないので先輩に聞く時にどう聞けばいいかわからないとか、後輩にもどう声をかけたらいいかわからないということがあるようです。</p> <p>ゲートキーパーが増えているという割にどこにゲートキーパーがいるかもわからないので、例えば子ども見守りのステッカーのようにゲートキーパーをやっていますよとわかるようにして、色々ところで話を聞いてもらえる機会をどんどん増やせばいいと思います。</p>
保健予防課長	<p>ゲートキーパーとわかるようなものを示してくださいと言っているわけではないので、なかなか難しい部分もあるかと思</p>

	<p>ますが、基本的には身近な方の話を聞けるような方を多く作っていきたいと考えております。希望があれば民間団体にも、講師を派遣することをやらせていただいているので、ご相談いただければ会社にも派遣できる可能性はあるかと思えます。</p>
副会長	<p>高齢者のもの忘れ相談会のように、こころの相談会として講演会等の後に何かそういう相談できる場を設けるっていうのは予算立て出来ないでしょうか。</p> <p>また、こころの体温計について、最後は「ここに連絡ください」と表示されるだけなのか、それとも SNS でそのまま相談できるようになっていますか。これも最後にそのまま相談できる SNS になっていけばいいかなと思います。</p>
保健予防課長	<p>こころの体温計につきましては、相談の窓口を紹介している形になり、特にそこからすぐに相談できるという体制にはなっていないところでございます。</p> <p>相談会につきましては、講演会をした後などに相談していただければもちろん伺うことはできますが、基本的には地域に保健師がおります。保健センターにご連絡いただければ、電話でも来ていただいたの相談でもできる体制になっております。その状況から精神科の先生に話を聞いてもらった方が良いという判断になれば、保健センターで実施している精神科の先生に来ていただいているところに繋げることも出来ますので、気軽にご相談いただければと思います。</p>
会長	<p>なかなかハードルが高いので、超えられるような手助けがないかという話かと思いますが、それについては何かございませんか。</p>
保健予防課長	<p>ハードルが高くなるとなかなか難しい部分はあるかと思いますが、区の職員にお声掛けいただければ相談に乗ることが出来るかと思えます。いつでも聞きますよという体制でこちらはいるつもりですが、何かの機会で区の職員がいれば、ご相談いただいても構わないと思っております。</p>
副会長	<p>区内の保健センターですぐに相談できるのでしょうか。それとも曜日や場所が決まっていますか。</p>
保健予防課長	<p>基本的にはご連絡いただければ相談を受ける体制にはなっております。</p>

副会長	こころの相談受け付けています、というアピールはどれくらいしていますか。
保健予防課長	こころの相談もお受けします、とこちらでは出しているつもりですが、なかなか認知されていない部分もあるかもしれません。特に保健師について、何をしている人かと思われているということもあるかもしれません。
副会長	精神保健衛生士はいますか。
保健予防課長	精神保健福祉士が今2名おり、追加で3名を予定しているところですが、今は応募がなく雇用できていないところになっております。
副会長	3月、9月を集中月間にするのであれば、確かに1番ケアすべき時期ではあるので、普及啓発して集中的にやるのであれば、こころの相談室開設という感じで、精神保健師強化月間にしてもらえるといいのかなと思ったのでご検討をお願いします。
保健予防課長	その期間には、広報やホームページでは周知させていただいてはいますが、最近では新聞を取る方が減ってきて、広報がなかなか全戸に配布されないことや、ホームページも私達がターゲットにしたい方々に見ていただけないところもありますので、色々な方法を周知していきたいと思っております。
地域保健課長	今の話の中で、広報の配布について、葛飾区の場合は新聞とは関係なく全戸配布しておりますので、そこは訂正させていただきます。
健康部長	色々ご意見いただきありがとうございます。 他の区では、こころとからだの相談会をやっているところもありますので、参考にしたいと思えます。待っていてもなかなかお見えにならないかなと思えますので、出前相談とかも考えたいと思えます。 現在のところは、広報の色々な相談一覧の中に「こころの相談」というものがあり、保健センターで相談お受けしています、という案内を月一回程度出しています。電話で保健師が話を聞いて、必要な場合は、月に1回、精神科医が来る日が各保健セ

	<p>ンターにあり、本人や家族が相談を受けるということをしていきます。そういった周知について、調査では知っている方が20%は超えています。まだまだ足りないかと思っておりますので、これからも力を入れていきたいと思っております。</p>
委員	<p>20代の自殺者が多いということで、最近大学で話を聞いて、鬱の学生が増えているなど実感しています。その子たちは、どこに行ったらいいかわからない、相談をすることに躊躇している、先生や友達に知られずにいたい、ということがあるのかなと感じています。コロナ禍で対面がなくなった頃から、増えていると感じていて、人と一緒に何かできなくなっていると思うので、そこをどういう風にしていったらいいのかということが私たちの課題かなと思っています。</p>
健康部長	<p>ありがとうございます。実態としてよくわかりました。 職場でもそういうこともありまして、どこもそうなのかもしれませんので、そういった情報を共有するとか、そういった機会は必要かなと思います。是非大学や事業所など色々なところにこちらも何か情報発信していければと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>他に何かございますか。 それでは(1)葛飾区自殺対策計画の進捗状況についての報告を終了させていただきます。</p>

(2) 葛飾区保健医療実態調査の結果について

会長	<p>それでは次に、「(2) 葛飾区保健医療実態調査の結果について」、事務局から説明をお願いいたします。</p>
地域保健課長	<p>【資料2により説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。 それでは、只今の説明に対する、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>がん検診で、胃カメラの検査が医療機関で確か1,000円程度で受けられたと思いますが、安定剤とかを打ってもらえないということでちょっと受けにくい状況になっているのかと思いま</p>

	<p>す。医学的な問題や麻酔を使うことで副作用があるということは十分承知していますが、このことについてお伺いしたいです。</p>
健康づくり課長	<p>全身麻酔をかけて内視鏡の検査が出来ないことがハードルではないかということでしょうか。</p>
委員	<p>全身麻酔ではなく安定剤で意識がある状態で楽に出来ないということです。全身麻酔ですとすぐに帰れませんし、使うと問題があるかと思imasので、楽に安定剤を使うことが出来ないかということですか。</p>
健康づくり課長	<p>内視鏡の検査は国の指針に基づいて検査をしております、飲み込みがしやすくなるようなスプレーの麻酔とかは実施できますが、それ以上は出来ないことに今はなっております。</p>
委員	<p>最大の理由みたいなものはあるのでしょうか。</p>
副会長	<p>元々はバリウムで行っていましたがすごく受診率が低く、受診率を上げようと胃がん内視鏡検診を23区内で1番安い価格で設定していただいてやっているのを受診率は上がっています。</p> <p>その検診の基準ですが、国のガイドラインで、先ほどおっしゃったセデーションという少し意識がぼーっとする注射では行わないようにという指示が出ていまして、その指示のもとでしかやれないので、区もその指示に従っているところです。</p> <p>理由としては、意識が失っている中で行くと、色々トラブルが起きて医療訴訟になりやすいということがあります。苦しいのを避けるという面では、胃がん内視鏡検診の方も口からと鼻からがありますので、鼻はほとんど苦しくないです。</p> <p>また、他の検診もですが、精度管理というものを行わなければならない、リスクを減らす、費用、メリットとデメリットの説明、感染防止や結果も医師会や検査している人で二重読影をするといった、かなり複雑な手順を踏んで行っています。</p> <p>国の禁止を無視はできないので、全国一律でそういう形で進めているものになります。どうしてもセデーションをして、がん検診を受けたいという場合は、人間ドックなどの自費でやらざるを得ないというのが現状かと思imas。</p>
委員	<p>ありがとうございます。やはり受診率の問題で、ちょっと胃カメラが苦しい、そういったことでちょっと受けにくいのかな</p>

	<p>というところがありました。国の指針であればなかなか踏み込めないと思いますけども、何か異常がないとなかなか診察には結びつかないと思いますので、啓発をしていただければと思います。</p>
副会長	<p>保健医療実態調査の冊子の23ページで、受診した健診の区の健診に特定健診と長寿医療健診の両方が入っているので、母数がわからないと実際の受診率がわかりにくいと思います。</p> <p>調査をする時にどの保険に入っているかがわかれば国保の中の受診率、長寿健診の受診率、社保の受診率、それを合わせて上手くいっているのか足りていないのかを分析すべきだと思います。</p>
健康づくり課長	<p>24ページで年代別のクロス集計をしており、70歳以上だと、長寿医療健診が74歳以上なので多くの方が含まれていますが、74%の方が区で実施している健診を受けているということがわかります。また、今回の表の中には含まれていませんが、加入されている保険についても伺っているので、年代等とクロス集計をして、これから健診についてどう進めるのか検討したいと思っています。</p>
副会長	<p>がん検診に関してはいかがですか。</p>
健康づくり課長	<p>29ページ以降が、がん検診をどこで受けているかとなっています。先ほどの長寿医療健診や特定健診と同じように、年代や勤め先についても伺っているので、クロス集計をして、どういった傾向があるのかというのはこれから詳しく見ていきたいと思っております。</p>
副会長	<p>他の都内と比べるとどうですか。</p>
健康づくり課長	<p>他の区との比較は、まだこれから見ていくところです。ただ23区内で比べると肺がん検診以外は、23区の後ろから数える状況になっております。肺がん検診は1番、2番ぐらいのところとなります。</p>
委員	<p>41ページで、歯の健康を保つために行っていることの「その他」というのがどういうことが多かったか分かりますか。</p>

歯科保健担当課長	<p>具体的にその他の自由記載は取っていないので、それ以外の項目で何かやっていることがあればということになります。</p>
副会長	<p>薬局の話で、先般、薬袋の話をしましたが、ポリファーマシーの問題というのは調査や検討の予定はありますか。</p> <p>薬を飲み過ぎていると、薬価の問題もありますし、多くなることによってフレイルも進行したりや、飲み間違いなど色々な問題が起きるので対策はいかがですか。</p>
長寿医療・年金担当課長	<p>国保に加入している方の特定健診を担当していますが、令和6年度からが計画期間の新しい計画の改定をしており、重複多剤について触れております。</p> <p>病気の中には治療に適正な薬の数が6剤以上超える場合があり、一概に良くないと言えないかとは思いますが、成分や効能が同じ薬を重複して飲まれてしまいますと、効き目が強くなりすぎたりだとか、他の薬との飲み合わせが悪くなったりして、身体の不調や副作用を起こすリスクが高まってくるところでございます。</p> <p>お薬バッグの話が出ましたが、お薬バッグの存在は知っているけれどもどう活用したらいいかわからないという方がいらっしゃるようです。ポスターを薬局に貼ってくださっているとは聞いていますが、どんなお薬を飲んでいるか、飲みすぎではないかと不安になっている方にかかりつけ薬局として相談に乗っていただけたらということと、薬がたくさんある方はお薬バッグなどを活用しながら、上手くお薬の量を調整していただく取組ができればと考えているところでございます。</p>
健康部長	<p>データヘルス計画の中でどのくらいの方が6剤以上飲んでいるかの実態把握をしていますので、調査結果等を医師会にも情報提供していきたいと思っております。</p>
会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>では「葛飾区保険医療実態調査」につきましては、以上をもちまして、終了させていただきます。</p>

(3) 次期かつしか健康実現プランの策定について

会長	<p>次に「(3) 次期かつしか健康実現プランの策定について」、事務局から説明をお願いいたします。</p>
----	---

地域保健課長	【資料3により説明】
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、只今の事務局からの説明に対しまして、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>これから、こういうプランを作っていきたいという話でございます。</p>
	(意見なし)
会長	特にご意見等ないようですので、次に移らせていただきます。

(4) 令和6年度の新規事業等について

会長	次は「(4) 令和6年度の新規事業等について」、事務局から説明をお願いいたします。
地域保健課長	【資料4-1～4-3により説明】
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、説明いただいた新規事業等について、ご意見等ございますか。</p>
委員	健康アプリについて、この中で歯科的な内容というのは含まれているのでしょうか。
健康づくり課長	今年度行った健康チャレンジ事業の中では、歯科検診を受けて申告いただきますと、ポイントが付くという形で展開してまいりました。来年度以降の展開ですが、健康に繋がる行動をしていただいて、そのポイントがかつしかPAYになって還元できるという仕組みで検討を進めているところでございます。
委員	成人歯科検診や長寿歯科検診を受診したということも点数に入りますか
健康づくり課長	今年度については、成人歯科検診も長寿歯科検診も、受けたと申告いただきますと点数になっています。来年度についても、今年度に引き続きという形で進むように、調整しているところ

	でございます。
委員	かかりつけ歯科医を持ち定期的を受診しているということはいりませんか。
健康づくり課長	定期的を受診して、口の中をチェックしていくということは、健康に繋がる場所なので大事な行動だと思っています。来年度の事業については、組み立てをしているところですので、そういったことも踏まえて、健康に繋がる行動をピックアップして進めてまいりたいと考えております。
副会長	今の健康アプリとこころの体温計のアプリについて、どういうアルゴリズムになっているかは開示できますか。 こういう風に展開していて、こういう内容になっていますというのがわかるようであれば、機会があれば教えていただきたいと思います。
健康づくり課長	現在は、こころの体温計と区民の健康チャレンジは別々の展開でやってきています。来年度については、こころも身体も繋がるものだと考えていますが、どう繋げられるかというところも含めて相談しているところです。
副会長	現状の健康アプリとかこころのアプリがどうしているか、もしわかれば教えてもらいたいです。また来年度どう変わっていくか、合体させていくかというところも併せてお願いします。
健康づくり課長	現在どういう風に展開しているか、次はどうなるのか整理させていただきご説明させていただきます。
会長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 この件に関しましては、特によろしいでしょうか。

<その他事項>

会長	委員の皆様から何かございますか。全体を通してでも結構でございます。
委員	健康に適度な運動について、もう少し詳しく一般の方たちがどのような運動をしているかを教えていただけると対応できる

	<p>のかなと思っています。</p> <p>また自殺の問題につきまして、民生委員・児童委員の名前は周知していますが、保健師については、我々地域ではあまり理解されていないので、近場でそういう人たちが相談できるように広報をきちっとしていただければと思います。ゲートキーパーも研修しただけではなく、実際に相談になって欲しいと感じています。</p>
委員	<p>自殺者に関して、若年層または高齢層が多いということが気になり、やはり原因を確認するのが大事ではないかと思いました。</p>
地域保健課長	<p>自殺の話については、どこで相談できるのか、なかなか理解されていないという話がありました。広報の手段としては、やはり広報かつしかとホームページがメインになってまいりますので、引き続き広報かつしかで自殺対策月間などの時には割と広めに紙面を取って周知を図っていきたいと考えております。</p> <p>また、原因について確認することが大事というお話がありました。先程の話の中でもございましたが、なかなか本当の理由を聞くというのは難しい部分はあるかと思えます。その時の状況などを確認しながら、これが主たる原因だろうということで、説明させていただいたところですけども、対策を打てるようにしていければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
副会長	<p>どのスポーツがどのように効果があるかということは、是非考えてもらいたいと思います。また、そのスポーツに参加するという面では、区内にはたくさんのスポーツ連盟があります。</p> <p>また去年から福祉部の地域包括ケア担当課に話をしていますが、区内のラジオ体操を行っているところの地図を作ってもらっていますが、あまり広報されていないので、広報してここでラジオ体操をやっていますよとすれば、そこに集まることができると思います。今、通いの場を作ろうと一生懸命やっていて、10人グループでやっていますが、身体を動かす場ではないところも多いです。ラジオ体操の通いの場で、高齢者総合相談センターの方も行ってもらい、高齢者と繋がりながら若い人も活用できると1つの場になると思います。また太極拳でゆっくり身体を動かして、筋肉を動かすということがサルコペニアの筋肉低下にすごく効果がある行為として先日の医師会でも話がありましたので、ラジオ体操と太極拳を一緒にやる場を設けてもら</p>

	<p>えればと思います。</p> <p>その他、野球などに関しても指導者不足と言われていたりしているところですが、地域の方は恐らく色々できるけれども、マンションが多く繋がりが無いので参加できないといったこともあるので、スポーツ連盟を活用しながら、集まれる場を作ってもらえればと思います。要望になりますが、地域包括ケア担当課や生涯スポーツ課とも健康づくりの一環として協力してやれるような体制をお願いできればと思っております。</p>
--	---

<閉会>

会長	事務局から連絡事項をお願いいたします。
地域保健課長	<p>委員の皆様方、活発なご議論ありがとうございました。</p> <p>本協議会の会議録に関しましては、事務局で概要をまとめ、本協議会の会長、副会長にご確認いただき、区の公式ホームページに掲載させていただきたく存じますので、よろしく願いいたします。</p> <p>次に、今後のスケジュールでございますが、今年度につきましては、今回の協議会で終了となります。来年度につきましては、先程ご説明いたしましたとおり、第1回の協議会を7月頃に予定しておりますが、また改めてご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、これをもちまして、令和5年度第2回葛飾区健康医療推進協議会を閉会させていただきます。</p> <p>議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>(終 了)</p>